

タットン会 通信

2008.

12. 20

タットン会ホームページ **タットン会** と入力すると検索でき、会の趣旨や開催日時などが確認できます。また、ボランティアセンター 046 (825) 0017 で、日程を確認することも出来ます。
 ※ 活動中の写真掲載等をご遠慮なさる方は、事務局員にお申し出ください！（事務局は青バッチです）
 (11月の参加費は 8,400円 寄付金は 1,800円 計 10,200円でした。ありがとうございました)

11月15日の73回目のタットン会は、チャレンジャーさん29名に対しボランティアさんが20名弱でした。組み合わせの際、6名のチャレンジャーさんのグループにボランティアさんが一人しか割り当てられない！！困っていたその時に、お父さんボランティアさんが名乗りをあげて下さり、とっても助かりました。どのチャレンジャーさんに対しても、マンツーマンで対応していきたいところですが～現状ではボランティアさんの不足で、この先怪我なく運営が可能なのか…正直言って不安もつきまとっています。

しかし、

- ①バドミントンはゲームを中心に行うグループも出てきて、皆さんの上達ぶりは見違えるほど。
- ②卓球は回を重ねるたびに継続回数が増えてきていること。
- ③最後のフロア清掃はチャレンジャーさんのモップ隊が一列に並んで、使う前よりもきれいにしようという気持ちがうかがえること。
- ④パラシュートを宙に浮かすため、みんなの手を離すタイミングが合ってきたことなど…継続の力は本当に凄い！と感じております。

会の終了後の事務局反省会では、バドミントンの部では『チャレンジャーさん同士でプレーできる雰囲気が出てきた。』『(1コートに8名が入ると、ネットが使えない人が出てくる為) ある程度の時間になつたら、ローテーションをしてみたが、タイマーがあるとわかりやすくて都合がいい。』

卓球の部では『過去数回の参加の中で、初めて前半・後半とラケットを握ることが出来たチャレンジャーさんがいて嬉しかった。』

全体を見渡してでは『○○さんは今日あまり動きたくなかった様子だけど、何かあったのかな？』などなど、可能な範囲で会の中で気が付いたことを話し合っています。

とっても気持ちの良いスタッフ（事務局員）が揃ってはいるのだけれど、無理が原因の怪我に繋がらない為にも、より多くのボランティアさんの力が必要だと痛感しています！！！

視覚障害関係ボランティアの紹介

先月の11月8日に二俣川にある『神奈川県立ライトセンター』に於いて、ライトセンターフェスティバルという企画があり、盲目になりかけている友人と共に出かけてきました。

生活から光を奪われてしまった方々が、『見えない・見えにくいこと』ってどんな感じであるのか？ どんな工夫をすれば生きる喜びを感じることが出来るのか？ 少しでも、知りたかったのです。

30を過ぎてから急に視力が落ち始めたその友人は、自らの命を絶とうとしたり…その後、家に閉じこもるまでになっていました。私が幾度か家に訪問しているうちに、少しづつ外出できるようになりました。

当日は、盲人卓球やフリスビーを体験したり、日常生活で使う用品などを見てきました。その中で、『**視覚障害援助赤十字奉仕団**』というボランティアさんのお話を聞くことができました。それは、見えなくなった方の家まで行き目的地までの案内をすると、パソコン指導・デジタル録音図書編集・スポーツ介助など…。

それらの話で、彼はまた一つ生きる希望を見出すことができたようです。

探せばまだまだ知られていないボランティアがたくさんあるのですね！私も乱視がひどく、いつ視力がなくってしまうかわかりません。出来るときに、出来ることをやっていかなくちゃ！と感じています。



一列になり、揃ってきたモップ隊！！



感想・参加者カード・気がついたこと!!!! チャレンジャー 29名参加

- ※1 出来るだけラリーの数を増やそうと練習しました。100回以上ものラリーが続き、私も大変汗だくで頑張りました…、これからはもっと左右に身体を動かす練習をしたい！！（O様）
- ※2 MチャンとK君で卓球をやり、7回続きました。ブラインド卓球も行い、面白かったです（W様）
- ※3 …シャトルを追うことは出来ています。上に来たシャトルは得意でした。後半は、5分ごとにペアを変えてやったところ、最高ラリーは10回。一生懸命シャトルを追って、頑張っています。（E様）
- ※4 ネットなしで、手投げで打ったりラリーをしたりしました…。すごく柔らかい雰囲気の方で、一緒に楽しくやれました。笑顔が本当にステキ！！ありがとうございます。（I様）
- ※5 ラリーを少しだけ続けました（20回）。今日はあまり気が乗らないようだったので、みんながやっているのを観戦しました。今日はTチャンなりの理由があったのかなと思います。次回、また一緒にやりたいです！！（Y様）
- ※ 通信69号では11/22決定と案内してあり、その後日程変更。ご迷惑をおかけ致しました。



パート 33



最初に参加した反省会にて、よくわからないままに、二つ返事で「青」のネームカードを頂戴するのを承諾してしまい、事務局という立場になりました。私がタットン会に初めて参加してからまだ半年もたっておらず、事務局としてたいした活動はしていませんが、前回の反省会にて依頼が回って来たので、この度拙筆ながら寄稿させていただきます。

そもそも私がタットン会に参加しようと思ったきっかけは、休日の空いた時間にできるボランティア活動をと思い、横須賀市のボランティアセンターに相談に行ったところ、タットン会の紹介を頂いたことでした。

ほかにもいくつかボランティアの紹介を受けましたが、その中で私がタットン会に参加しようと思ったのは、たまたま卓球の経験があったことと、月に一度の活動とのことで、自分の負担も大き過ぎなくて済むからというものでした。

以来、今のところ毎回参加しています。タットン会に参加してみて感じるのは、学生たち若く方々が中心になって運営しているのが立派だなということ。また、毎回終わった後に反省会を開いて改善をはかっていることに感心しました。

最初はボランティア活動をしているという感覚と、チャレンジャーさんと上手くプレーができるだろうかという心配がありました。数回参加してみて、今は毎月恒例の行事という感覚で参加しています。こうやって気楽に参加できるというのも、タットン会の大きな魅力だと思います。

ともあれ、新参者である私を快く受け入れてくださった事務局の皆さん、そして毎回私のお相手をしてくれるチャレンジャーの皆さんに感謝を申し上げたいと思います。そして微力ながら私も、これからタットン会のますますの発展に、少しでも寄与できればと思います。

事務局担当 木崎浩一

第74回タットン会 12月20日の流れ 於 県立保健福祉大

- 8:30 ～ 準備
9:00 受付開始
9:30 本日の説明 ペアになって、カード確認
自己紹介・ハイファイブ or 握手、体操
(ディズニー or ラジオ体操)、各種目へ
10:20 休憩
10:40 後半競技～（試合形式に挑戦！？）
11:10頃 パラシュート！
11:20頃 片づけ・モップ、感想カード記入
(手話コーナー)・けがの確認
11:40頃 解散

午前



《次回の予定》

2008年度 ホームページで確認を！！！

次回 75回 2009年1月24日 県立保健福祉大学決定

76回2月28日、77回3月21日または28日に予定

本日の担当者

チーフ・セッティングチェッカー：佐藤一雄

継続受付：林・鈴木他

新規受付・説明：浅羽…

全てのサポート：県立大学学生・事務局メン

